

第8回 リレー講座 R5.12.09 (土)

2023年 第8回リレー講座を以下の通り実施しました。多数のご参加ありがとうございました。参加者の皆様の様子をご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

日 程 12月9日(土) 13:30~15:00

場 所 C105

担当者 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター
准教授 内田 誠

講義内容 「考える」を考えようー教科教育の視点・特別支援教育の視点ー

- ・「考える」とは(講義)
- ・誰にでも知的好奇心はある(講義)
- ・考える楽しさを知ろう(演習)
- ・考える楽しさを伝えよう(演習)



参加者の声より

- ・ 誰にでも知的好奇心があるということにはっとさせられました。たとえ障害があっても子どもは考えることが好きということもこれから意識していきたい。日頃から「なぞなぞ」クイズなど楽しく取り組む子がいます。発達段階により質は変わりますが、考えていることにつながると感じました。ヒントをもらいました。ありがとうございました。
- ・ 「考えること」は大切だと分かりました。またその面白さを子どもに伝えていきたいと思いました。考えることは、生涯にわたる楽しさだと思うので、大切にしていきたいです。
- ・ 児童の「考える力」を伸ばすためには、知的好奇心を刺激させることが大事。知的好奇心を引き出すためにも、まずは自分が好奇心を抱き、考えることが必要。
- ・ 答えを求めることが全てではなく、まずは考えることが大切ということを改めて学びました。子供たちに指導する前に、自分自身が考えることを諦めずに、学び続けられるように努力したいです。
- ・ 今まで「考える」ということに焦点を当てて考えたことがなかったのでとても新鮮でした。また、子供たちがよく言う「何の役にも立たない」(将来、役に立たない)という言葉に対しての答えを得ることができてよかったです。
- ・ 特別支援だから、障害があるから考えられない、～できないではなく、それをいかに表出させるのかを教師が考え、手立てを工夫しなければいけないと思いました。考えること、知的好奇心をくすぐる指導が、どの学校でも、どんな年齢でも大切なのだと感じました。
- ・ 演習の時間があり、考えることの大切さを改めて認識できた。意外と分かりそうで分からないとおもしろいし、もっとやりたいという気持ちになるので、子どもに問題を提示する際は、そういうところも意識していきたい。
- ・ 役に立つ知識だけを学ぶということは一見合理的に思えて正しいことのように感じてしまいましたが、そこには危険性があり、注意する必要があると感じました。自分が教師になったら、生徒にこの知識は役に立たないかもしれないけど楽しいからやりたいと思わせられるような授業ができるようになりたいです。講義ありがとうございました。